神戸市感染症発生動向調査週報

平成29年2月1日 作成

神戸市感染症情報センター

報告定点数 48 ケ所 (内訳)東灘6,灘3,中央3,兵庫3,

第4週 2017年 1月 23日 ~

2017年 1月 29日

1	ン	フ	J	レ	I	ン	゙ザ	
_		_	_	_				•

过置	≧点数	48	ヶ所	北8,長田3,須磨6,垂水8,西

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	~5ヶ月	~11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	~14歳	~19歳	~29歳	~39歳	~49歳	~59歳	~69歳	~79歳	80歳~
インフルエンザ	270	131	97	79	190	132	198	232	301	1, 630	5	13	46	57	49	80	78	95	81	82	91	375	120	61	105	107	78	60	34	13

報告定点数 31 ケ所 (内訳)東灘4,灘2,中央2,兵庫2.

小児科	
-----	--

児科			設置兌	≧点数	31	ヶ所		北5,長	田2,須磨	§4,垂水5,西5	j
病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	,
Sウイルス感染症	1						3		1	5	

1歳 | 2歳 | 3歳 | 4歳 | 5歳 | 6歳 | 7歳 | 8歳 ~14歳 ~19歳 20歳~ 疾症 RS 2 3 2 **咽頭結膜熱** 4 35 3 3 2 5 16 6 5 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 19 19 10 12 12 11 感染性胃腸炎 5 10 16 5 23 14 22 60 26 181 16 9 19 10 26 水痘 手足口病 伝染性紅斑 突発性発疹 2 3 10 4 3 百日咳 ヘルパンギーナ 35 2 5 9 5 流行性耳下腺炎

インフルエンザの定点あたり患者 |数は34.0人となり、本格的な流行 を示す警報レベル(30人以上)を超 えました。過去の動向をみると、 警報レベルを超えた週又はその次 の週に流行のピークを迎えること が多いです。市内学校園の学級閉 鎖も急増しています。

インフルエンザは稀にインフルエ ンザ脳症と呼ばれる重症の急性脳 炎を発症することがあります。呼 びかけても反応しない、痙攣を起 こす、意味不明なことを言うなど 重症化のサインがあればすぐに医 療機関を受診しましょう。

【学校園 出席停止のめやす】 |発症後5日を経過し、かつ解熱後 2日(乳幼児にあっては3日)を 経過するまで

報告定点数 10 ヶ所

(内訳)東灘1,灘1,中央1,兵庫1,

眼科

設置定点数 10 ヶ所

北1.長田1.須磨1.垂水1.西2

<u>-544 1-1</u>				<u> </u>		/ //																							
疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	~6ヶ月	~12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	~14歳	~19歳	~29歳	~39歳	~49歳	~59歳	~69歳	70歳~
急性出血性結膜炎																													
流行性角結膜炎				1						1					1														

(定点機関から報告されたその他の感染症情報)

北 区〇アデノウイルス感染症2例:0~4歳男女(6505)

垂水区〇ノロウイルス感染症1例:0~4歳女(6802)

垂水区〇病原性大腸菌感染症1例:年齡・性別不明(6804)

垂水区○ヒトメタニューモウイルス感染症5例:年齢・性別不明(6804)

西 区〇アデノウイルス感染症5例:年齢・性別不明(6903)

西 区〇ロタウイルス感染症3例:年齢・性別不明(6903)

(インフルエンザ定点機関から報告された迅速キット陽性情報)

A 型	B 型
1417	7

〔お知らせ〕 バックナンバーは神戸市のホームページからご覧いただけます。

神戸市 発生動向 〔検索〕

「ILI情報センター」ホームページを開設しました!詳細はこちらをクリック

【結核に関する情報】 今週の結核届出患者数は21人(うち潜在性結核感染症3人)です。

【市内の感染症の状況】

- ●三類感染症である細菌性赤痢の届出がありました(海外渡航歴あり:モロッコ)。 ※海外からの帰国時に症状がある方は、空港の検疫所へご相談ください。
- ●2016年の梅毒報告数は神戸市58人、全国4,518人(速報値)といずれも過去最多 でした。国内の患者数が4,000人を超えたのは1974年以来42年ぶりです。

【感染症発生動向調査事業実施要綱】

http://www.citv.kobe.lg.ip/life/health/infection/trend/img/voukou110729.pdf

※病原体サーベイランスとは、流行する感染症の病原体を詳しく調べて、その特徴や流行状況を監視する システムです。解析結果は、「神戸市環境保健研究所における病原体分離・検出状況」をご覧ください。

神戸市感染症発生動向調査週報

神戸市感染症情報センター 2017年2月1日作成

全数把握对象感染症発生状況 (三類感染症 細菌性赤痢)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	菌種	診断方法(検査法)	症状	推定感染原因	備考
女	70代	2017年1月16日	2016年1月20日	2017年1月25日	flexneri(B群)	分離・同定による病原 体の検出(便)	下痢	不明	海外渡航歴あり (モロッコ)

全数把握対象感染症発生状況 (五類感染症 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症)

性兒	訓	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法(検査法)	症状	推定感染原因	備考
男		50代	2017年1月18日	2017年1月18日	2017年1月18日	/	喀痰培養 薬剤耐性の確認	肺炎	不明	

全数把握对象感染症発生状況 (五類感染症 侵襲性肺炎球菌感染症)

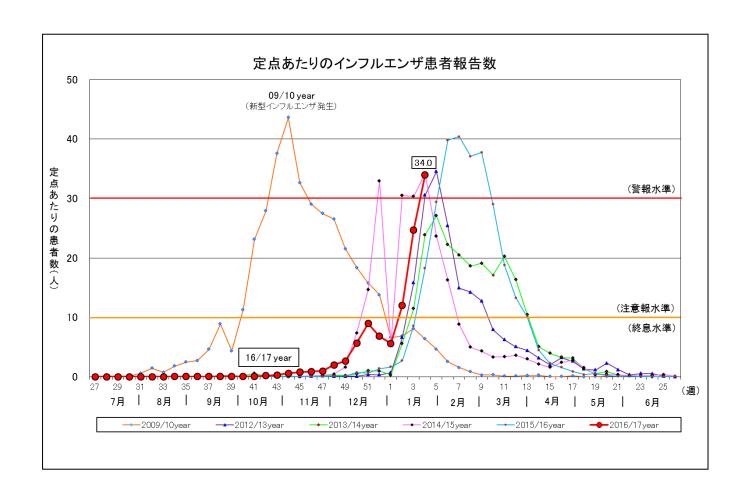
性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法(検査法)	症状	推定感染原因	備考
男	60代	2017年1月18日	2017年1月18日	2017年1月19日	/	髄液・血液培養法	頭痛・発熱・嘔吐 意識障害・髄膜炎 項部硬直・菌血症	不明	ワクチン接種歴不明

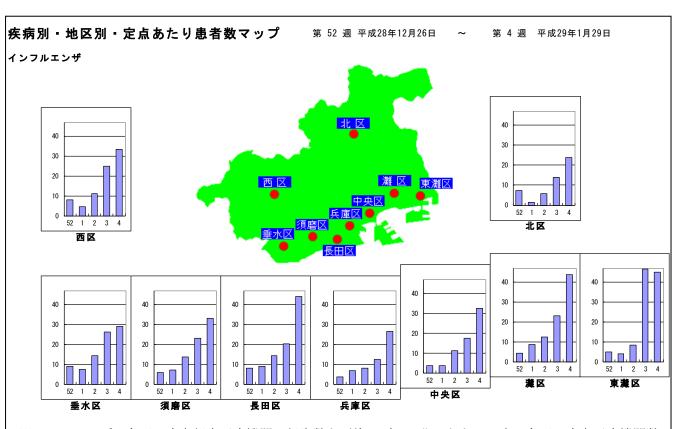
全数把握対象感染症発生状況 (五類感染症 梅毒)

	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	D 1175	1-7000017171						
性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法(検査法)	症状	推定感染原因	備考
男	20代	不明	2017年1月30日	2017年1月30日	早期顕症梅毒I期	RPRカードテスト TPHA法	硬性下疳、鼠径 部リンパ節腫脹	不明	

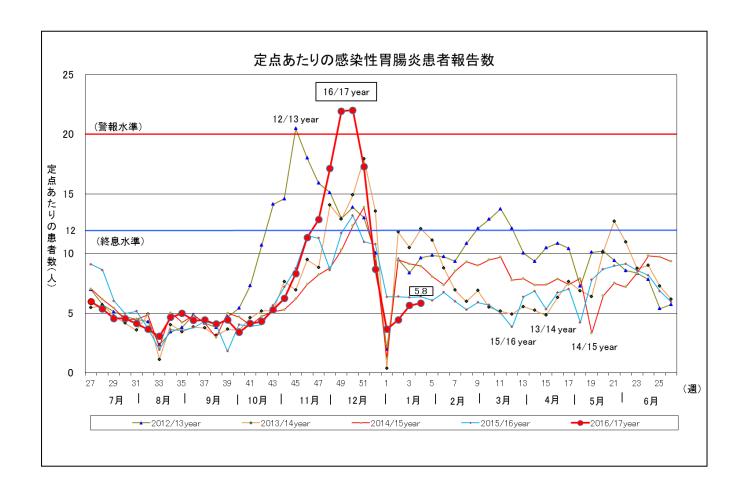
神戸市環境保健研究所における病原体分離・検出状況

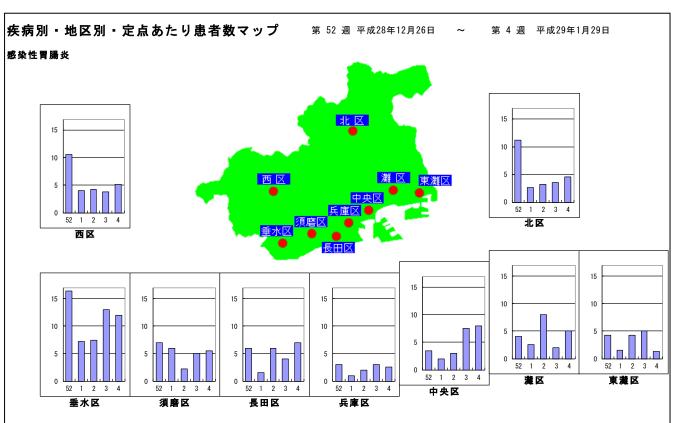
病原体	検体	凶	状況
A型インフルエンザウイルス (H1pdm09亜型)	鼻腔ぬぐい液	西	38歳7ヶ月女性(1/16採取、発熱あり、インフルエンザ、ワクチン未接種)、家族内発生
	鼻腔ぬぐい液	東灘	3歳男児(1/11採取、39.5℃、インフルエンザ、ワクチン接種歴不明)
	鼻腔ぬぐい液	東灘	16歳男性(1/11採取、37.6℃、インフルエンザ、ワクチン接種歴不明)
	鼻腔ぬぐい液	東灘	1歳0ヶ月男児(1/17採取、38.2℃、インフルエンザ、ワクチン未接種)
	鼻腔ぬぐい液	東灘	11歳女児(1/19採取、39.0℃、インフルエンザ、ワクチン接種歴不明)
	咽頭ぬぐい液	中央	7歳0ヶ月女児(1/13採取、38℃、インフルエンザ、ワクチン未接種)
	鼻腔ぬぐい液	中央	6歳6ヶ月女児(1/14採取、39℃、インフルエンザ、ワクチン未接種)
	咽頭ぬぐい液	中央	36歳7ヶ月男性(1/7採取、39℃、インフルエンザ、ワクチン未接種)
	鼻腔ぬぐい液	中央	6歳7ヶ月女児(1/16採取、40℃、インフルエンザ、ワクチン未接種)
A型インフルエンザウイルス	鼻腔ぬぐい液	中央	12歳男児(1/16採取、38.6℃、インフルエンザ、ワクチン未接種)
(H3亜型)	鼻腔ぬぐい液	中央	3歳8ヶ月男児(1/18採取、38℃、インフルエンザ、ワクチン未接種)
	鼻腔ぬぐい液	中央	8歳10ヶ月女児(1/18採取、39.4℃、インフルエンザ、ワクチン接種歴不明)
	鼻腔ぬぐい液	兵庫	2歳女児(1/11採取、39.3℃、インフルエンザ、ワクチン未接種)、家族内発生
	鼻腔ぬぐい液	須磨	61歳男性(1/17採取、38.2℃、インフルエンザ、ワクチン未接種)
	鼻腔ぬぐい液	須磨	14歳3ヶ月女性(1/17採取、37.8℃、インフルエンザ、ワクチン未接種)、家族内発生
	鼻腔ぬぐい液	須磨	10歳1ヶ月男児(1/16採取、39℃、インフルエンザ、ワクチン未接種)
	鼻腔ぬぐい液	垂水	12歳5ヶ月男児(12/26採取、発熱あり、インフルエンザ、ワクチン未接種)
	咽頭ぬぐい液	垂水	13歳7ヶ月男性(1/16採取、37.7℃、インフルエンザ、ワクチン未接種)
	咽頭ぬぐい液	垂水	16歳女性(1/16採取、39°C、インフルエンザ、ワクチン接種済み)
ノロウイルスGII	便	垂水	2歳女児(1/25採取、発熱なし、感染性胃腸炎)





※ このマップは各区の定点報告医療機関の報告数を平均しグラフ化したものです。各区の定点医療機関数は区の人口に合わせて設定しています。すべての医療機関からの報告ではないため、区内の経時的な傾向を把握することはできますが、区間の違いを正確に把握できるものではありません。





※ このマップは各区の定点報告医療機関の報告数を平均しグラフ化したものです。各区の定点医療機関数は区の人口に合わせて設定しています。すべての医療機関からの報告ではないため、区内の経時的な傾向を把握することはできますが、区間の違いを正確に把握できるものではありません。